

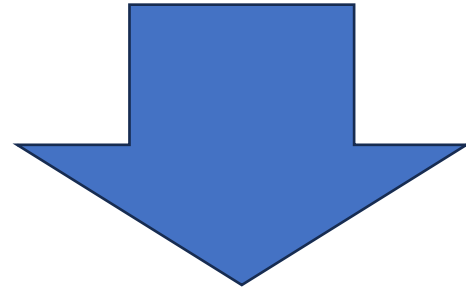
奥田先生の実践の特徴

夏休み経済教室・大阪(中学校)

登壇日:2025年8月13日 登壇者:関本祐希

社会科の授業づくりに熱心になったきっかけ

生徒が授業に参加しようとしてしない



なんとか授業に参加させたい

奥田実践の特徴①

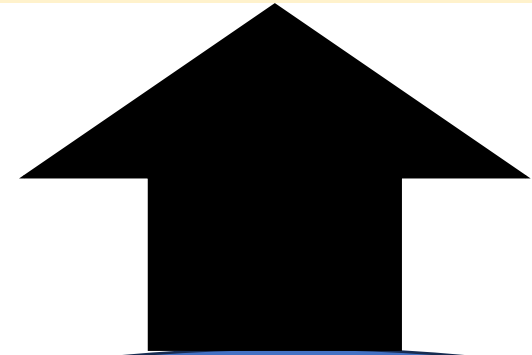
疑似プレイヤーを置き、生徒に社会問題を考えさせる

- 「公的年金問題」を考える実践
- 「人生ゲーム」で一生のライフイベントを体験する実践

疑似プレイヤーを置き、生徒に社会問題を
を考えさせる



開発教育
(貿易ゲーム)



人権教育

奥田実践の特徴②

取材を通してリアルを感じさせる授業開発

- ジャパネットたかたは、なぜ本社を長崎県佐世保にしているのか？

奥田実践の特徴③

哲学の観点をを用いた授業開発

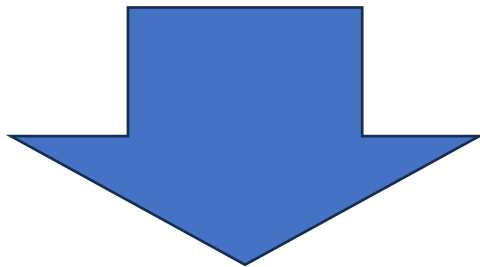
- 社会保障政策をロールズの「無知のヴェール」を紹介して考えさせる

第1次 公的年金問題に関心が持てるようにする

Q 大相撲の力士に年金はあるの？

第5次 「アリとキリギリスの童話の4つの結末から
どんな価値があるのかを考えさせる」

直観的判断



第6次 「ウアーム国の年金制度をつくろう」

哲学の考え方を使って、

他者性・利他性・複数性を求める

奥田修一郎「「公共性」を育む経済教育—正義を視点においた「公的年金問題」の
単元開発」『経済教育』27号、2008年、pp.151～158

第5次

A とともに助け合うこと、不利益な人、困っている人を助け、共に生きること。

B 自分の裁量とアイデアで自己実現する

C 自己責任 自分のことは自分で

D 自業自得 自分で招いたことに対して手助けする必要はない

第6次 実践時の変更点

×「次の日、あなた方はこの国の誰かの立場になるという仮定で考察してほしい」

⇒生徒には難しすぎた

○ 一人ひとり(虫)の背景を見ていくことで、誰の立場に立つことが大切なのだろうかという発問を加えた。

疑似プレイヤーを置き社会問題を考えさせる

実践08 外国人労働者

実践11 非正規雇用

実践15 財政問題：租税は権利か？義務か？

取材を通してリアルを感じさせる授業

実践18 買い物弱者

実践19 農業問題

哲学の観点をを用いた授業開発

実践14 『ドラえもん』を学習材にする

実践16 友人とは 『ドラえもん』を活用して

実践21 自動運転車

奥田実践と河原実践の違い

奥田実践

単元ごとの授業開発

⇒授業開発にかかる時間は、より長い

河原実践

一時間ごとの授業開発

⇒すぐ試しやすい